

宮之浦岳縦走

令和4年11月10日

久しぶりの単独山行は宮之浦岳にした。最近から那覇～鹿児島航路のマルエーフェリーが、上りの便だけ、事前予約の乗客があれば屋久島に寄港することになっており、「本部～屋久島～鹿児島」の船旅を予約した。

2010年5月の山歩会メンバーでの、豪雨のテント泊登山以来である。

その時、宿屋のご主人が「次は11月に来なさい、晴れた日が続くので」と言っていたのを覚えていた。

11月3日

本部町在の知人の会社駐車場を拝借するため朝5時半に家を出た

コンペ仲間で会社オーナーの知人に本部港まで送ってもらい、順調な船旅の滑り出しとなった。

11月4日

午前4時40分宮之浦港着の予定が、風速17メートルの強風のため宮之浦港に着岸できず、素通りして鹿児島新港に着岸。一日目から予定が狂った。

10時30分発の高速艇で安房港へ渡る。1案で準備した安房港から紀元杉まで一日2便しかない午後の登山バスに間に合ったのは幸いだった。

紀元杉から淀川登山口を経て淀川小屋に午後4時到着。初日は約1時間40分の歩き。

小屋には先客が10名程で、ゆったり場所取りできた。

下山するツアーガイドの話では、「昨日は、淀川小屋は満室で廊下まで寝袋があふれていた、今日は新高塚小屋が満室だろう」とのこと。

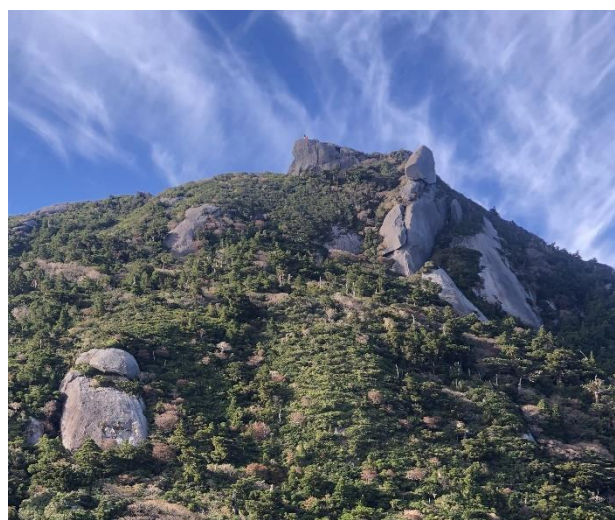
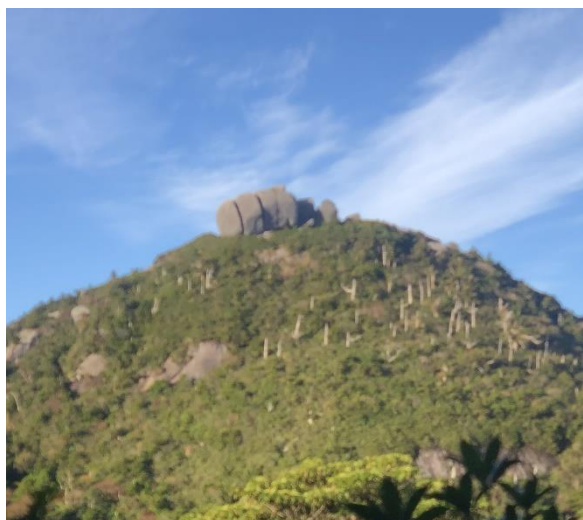
まずはコーヒーを沸かして一服。午後5時の気温5℃。持参のレトルト飯で夕飯を早々と済ませ、午後6時には寝袋に潜り込んだが、30年使い慣れてくたびれた寝袋では、寒くてなかなか寝付かれない夜だった。

11月5日

午前6時20分ヘッドライトをつけて、淀川小屋を出発。しばらくすると日差しがさして暖かくなってきた。午前8時花之江河着



今朝出発してから、後続の登山者にどんどん先を越されていく。半分は女性登山で、つくづく脚力の衰えを感じさせられた。



午前 10 時 50 分 宮之浦岳頂上到着。快晴で 360 度、海まで見渡せる。

2010 年の時は、雨で山の景色が全く見えない状態とは大違い。この歳で再び山頂に立てたことと併せて、幸運だと感じた。



頂上から下りのルートは、ぼくが得意とするはずだが、足元がふらつき踏ん張る力が無い、バランスが崩れる、張り出した木の根っこに何度もつまずき、転びそうになる。これまでの登山とは明らかに違う。それでも新高塚小屋への到着が遅れると、寝床が確保できなくなる恐れがあるので、昼食も菓子パンと羊羹で済ませ、休憩なしで、先を急いだ。

午後 1 時 40 分 新高塚小屋到着。テントサイトには 1 張のテントだけ。

前回、雨の中で 2 張のテントを設営し、夜中に寝袋まで浸水した同じ場所だ。小屋の中は数名が寝袋に潜り込んで休んでいる。

山に入ってから、GPS もアイフォンの電波もほとんど届かないので、気温も高度もわからないが、ここ新高塚小屋の高度は上高地と同じ 5 千尺。

コーヒーを飲んでしばらく寝袋に潜り込んで昼寝。夕方になると小屋も混んできた、夕飯の支度を早めに済ませ、寒いので午後 5 時に就寝。雨の気配は全くない。

11月6日

小屋の中は午前 4 時頃から、早立ちのグループが支度をはじめるので、早く目が覚める。

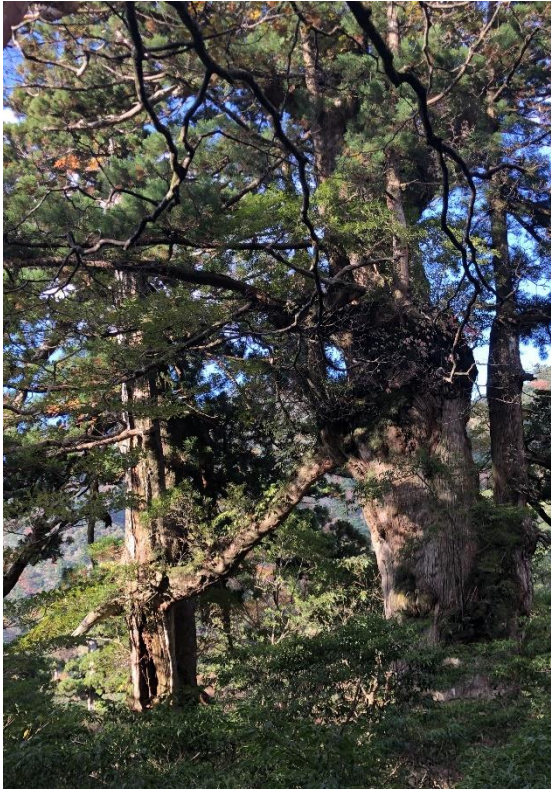
今日は午前 7 時出発の予定なので、ゆっくり朝食を済ませ小屋を出たのはぼくが最後。

午前 7 時 40 分 高塚小屋着、新しく建て替えられたて、定員 8 名の 2 階建のスマートな山小屋。

午前 8 時 縄文杉到着。



今も変わらず圧倒的な存在感。付け加える言葉もなし。



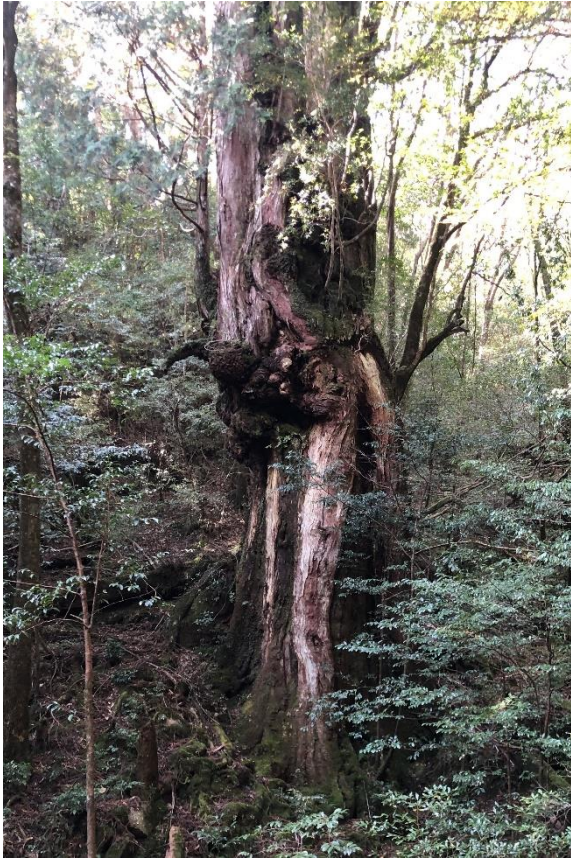
(夫婦杉)



(ウイルソン株)



(宮之浦岳遠望)



(仁王杉)



(翁杉?)

午前 10 時 10 分 登山道を抜けて大株歩道入口

午前 11 時 10 分 楠川別れ、今回はこれから白谷雲水挾へ抜けた。

午前 11 時 50 分 小杉谷集落跡



(トロッコ道に屋久鹿)



(小杉谷集落跡)

午前 11 時 40 分 荒川登山口着。バスの出発時刻は午後 3 時。



昼食は残りの食材を食べ尽くす。

今回はお湯を継いで 15 分で出来上がる、「五目ごはん」や、水を注いで 60 分で食べられる「アルファー米」登山用「棒ラーメン」豊富な食材を味わった。特筆すべきは「オートミール」。50g に 2 倍の水を加えて煮立えると

5 分で朝食が支度できる。(鶏がらスープの素を加えてジブロックに詰めておいた)

5月7日

午前 9 時 宿をでて、今回ぜひ行きたかった平内海中温泉へバスで 1 時間。自然の窪みに海中から温泉が湧き出で、干潮前後数時間だけ利用できる。ちょうどよいタイミングで、地元の方にマナーを教わる。「まずかけ湯で身体を洗い、それからスッポンポンで入る(下着、水着は禁止)よくぞ男に生まれけり！」

江戸時代から、地元の集落の浴場として使われているそうだ。



午後 1 時 30 分 安房港から高速艇で鹿児島新港へ。午後 6 時 フェリーにて帰路へ。

5月8日 午後 4 時 35 分本部港下船。知人の迎えに恐縮。



(高塚小屋)



(新高塚小屋)

日程表

					(マルエーフェリー)
11月3日	06:00自宅====07:30羽柴工業駐車場====08:00本部港09:00~~~翌08:30鹿児島新港				
		(高速艇)		(屋久島交通バス)	
11月4日	鹿児島新港10:20~~~13:15安房港13:36====14:36紀元杉……16:00淀川小屋 (泊)				
	1,380m			1,936m	1,501m
11月5日	淀川小屋6:20……8:00花之江河……8:45投石平……10:50宮之浦岳……13:40新高塚小屋 (泊)				
11月6日	新高塚小屋6:40……8:00縄文杉……9:40ウイルソン株……10:40楠川別れ……11:50小杉谷 (屋久島交通バス) ……12:40荒川登山口15:00====15:40屋久杉自然館====RAKUSAホテル (泊)				
		(高速艇)	(タクシー)		(マルエーフェリー)
11月7日	安房港13:30~~~15:30鹿児島南港====鹿児島新港18:00~~~翌8日 16:45本部港				

旅費

概 算 費 用	フェリー:本部~屋久~鹿児島	22,500	バ ス タ ク シ 賃	安房港~紀元杉	960
	高速艇	12,200		荒川登山口~屋久杉自然館	700
	フェリー:鹿児島~本部	12,820		屋久杉自然館~空港	580
	バス・タクシー賃	5,470		空港~海中温泉	1,190
	宿泊(1泊)	5,700		海中温泉~安房	1,100
	外食費	14,310		鹿児島市内(タクシー)	940
	環境保全協力金	2,000			
	事前買い出し	10,000			
	計	85,000		小	
				計	5,470

献立

	朝飯	昼飯	夜飯
4日	菓子パン(車中)	レトルト飯・サラミ	棒ラーメン
5日	オートミール粥	レトルト飯・サラミ	レトルトカレーライス
6日	オートミール粥 カップスープ	棒ラーメン、 アルファーマ	
非 常 食	棒ラーメン(1)、オートミール粥(1)、ライ麦パン(1)		
	サラミソーセージ(1)、カップスープ(2)		
	甘味品(クッキー、チョコレート)、		

